

平成28年度 第5回 九州工業大学 経営協議会 議事次第

日 時 平成29年1月17日(火) 13:00~15:00
場 所 百周年中村記念館 特別会議室

開 会

- 議長挨拶
- 欠席者等の案内 (資料1)
- 平成28年度第4回議事要旨の確認

〔審議事項〕

- (1) 中期計画の変更について (資料2)
- (2) 就業規則等の改正について (資料3)
- (3) 平成29年度定員改訂に係る学内規則改正について (資料4)

〔報告事項〕

- (1) 学校教育法施行規則の改正に伴う学則の一部改正について (資料5)
- (2) 平成29年度国立大学法人運営費交付金予算案等について (資料6)
- (3) 平成28年度補正「地域科学技術実証拠点整備事業」選定結果について (資料7)
- (4) 学長の業務執行状況の確認方法について (資料8)

〔その他〕

- (1) 本学の取組等への意見・ご要望等について (資料なし)
- (2) 平成28年度経営協議会の開催日程について (資料9)
- (3) 情報工学部開設30周年記念フォーラムの開催について (資料10)

議長謝辞

閉 会

国立大学法人九州工業大学経営協議会議事要旨（平成28年度第5回）

1. 日 時 平成29年1月17日（火）13:00～15:00
2. 場 所 戸畑キャンパス 百周年中村記念館 特別会議室
3. 出席者 麻生委員，井上委員，小笠原委員，工藤委員，久保田委員，高原委員，谷委員，松岡委員（五十音順）
学長，理事（教育・学生担当），理事（研究・産学連携担当），
理事（財務・評価・情報担当），理事（総務・労務担当），
工学研究院長，情報工学研究院長，生命体工学研究科長
4. 列席者 羽野監事，林田監事，副学長（国際担当），副学長（入試・広報担当），
学長特別補佐（男女共同参画担当），教養教育院長

5. 新年の挨拶

学長から、会議に先立ち新年の挨拶として、学長就任後の取組と今年の抱負について、話があった。

6. 会議成立

構成員18名のところ、16名の出席により定足数を満たしていることが確認された。

7. 議事録の確認

平成28年度第4回経営協議会（平成28年11月17日）の議事要旨の確認について説明があり、了承された。

8. 審議事項

（1）中期計画の変更について

（資料2）

学長から、平成28年度国立大学改革強化推進補助金（特定支援型）の採択及び平成29年度大学院情報工学府博士前期課程の入学定員改訂を受け、第3期中期目標を変更することについて説明があり、審議の結果、了承された。

（2）就業規則等の改正について

（資料3）

理事（総務・労務担当）から、次の制度の導入及び規定の改正に関する就業規則の変更について説明があり、審議の結果、了承された。

- ① 事務・技術職員の再雇用制度にフルタイム勤務を導入するための改正
- ② 年俸制職員の俸給額及び超過勤務の適用方針に関する改正
- ③ パートタイム職員の時給単価に関する改正

（3）平成29年度定員改定に係る学内規則の改正について

（資料4）

総務課長から、高まる社会的ニーズに応じていくため、大学院情報工学府博士前期課程の平成29年度入学定員を改訂することについて説明があり、審議の結果、了承された。

9. 報告事項

(1) 学校教育法施行規則の改正に伴う学則の一部改正について (資料5)

副学長（入試・広報担当）から、外国の学校教育における16年に満たない課程を修了した者に対し、大学院の入学資格を付与すること等を定めることとする学校教育法施行規則の一部改正が施行されたことを受け、学則を改正したことについて、報告があった。

(2) 平成29年度国立大学法人運営費交付金予算案等について (資料6)

理事（財務・評価・情報担当）から、平成29年度国立大学法人運営費交付金予算案の配分方針及び本学における配分額について、報告があった。

(3) 平成28年度補正「地域科学技術実証拠点整備事業」選定結果について (資料7)

理事（研究・産学連携担当）から、平成28年度補正「地域科学技術実証拠点整備事業」に採択されたことについて、報告があった。

なお、当該事業のうち施設の配置計画が認められなかったため、前回経営協議会で了承された北九州市所有の土地購入は実施しない旨あわせて報告があった。

(4) 学長の業務執行状況の確認方法について (資料8)

理事（総務・労務担当）から、学長の業務執行状況の確認方法について、報告があった。

また、学長選考会議議長から、学長の業務執行状況を確認するに当たり、経営協議会でのご意見を参考にしたいため、協力要請があった。

10. その他

(1) 本学の取組等への意見・要望等について

(○：学外委員，△：学内委員)

○：報道機関と接点を持ち、積極的に広報を行うことは重要である。そのうえで、教育及び科学技術担当の記者と交流を図る必要がある。

△：ご意見のとおり、本学の情報を専門の担当記者にアピールしていきたい。

○：優秀な高校生の獲得や就職後即戦力となる学生の育成について、どういう取組をしているのか。

△：理数系に興味を持ってもらうため、近年では範囲を広げ京都以西の高校に対し出前講義を実施しており、今後さらに積極的に実施していきたい。

国際社会で活躍できる人材を育成するために推進している取組がグローバルエンジニアリングの養成（Global Competency for Engineer）であり、自ら学び自分の持っているスキルを高めていく教育に力を入れている。今後もその発展を図るとともに、学生が自主的に取り組む

学生プロジェクトも積極的に支援していくことで、即戦力となる学生の育成に努めていきたい。

- ：母校の広報活動の紹介とともに、海外の同窓会組織も活発化させ、卒業後の帰属意識を高めること、本学のファンを作ることが重要である。
- △：本学の同窓会の結束力は強く、最近は海外に支部ができている。各支部の取組も活発であるため、今後もより連携を深め、様々な取組に支援をお願いしたい。

- ：年頭所感を公表したことを評価するとともに、より良い大学を目指すために、ベンチマークとする大学を明確にする必要がある。
- △：本学は高いポテンシャルを持っているので、それをどう発揮させるか考えていきたい。

- ：数値目標を掲げた年頭所感を出したことは評価できる。学長の考えを受け、各部局長がそれぞれのビジョンを持ち、それを公表してはどうか。また、広報活動には、ブランディングが大切で、それには学長のリーダーシップとそれを支える現役職員が一体となって活躍することが重要である。

- ：年頭所感は、わかりやすい文章で記載してあり、評価できる。経営協議会における議論が活発になったことを評価するとともに、今後も学長のリーダーシップのもと大学改革に取り組んで行くことで、さらに輝きが増していくと思う。

- ：学長として非常に良いスタートを踏み出しているので、引き続き本学の発展のために頑張ってください。

(2) 平成28年度経営協議会の開催日程について

(資料9)

学長から、3月16日(木)の開催場所を飯塚キャンパスから戸畑キャンパスに変更にしたこと及び会議終了後に意見交換会を予定しているため、会議の開始を15時からとすることについて説明があった。